



令和 8 年 (2026 年) 3 月 4 日 公表
 令和 7 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

ソウハチ (日本海南西部系群)

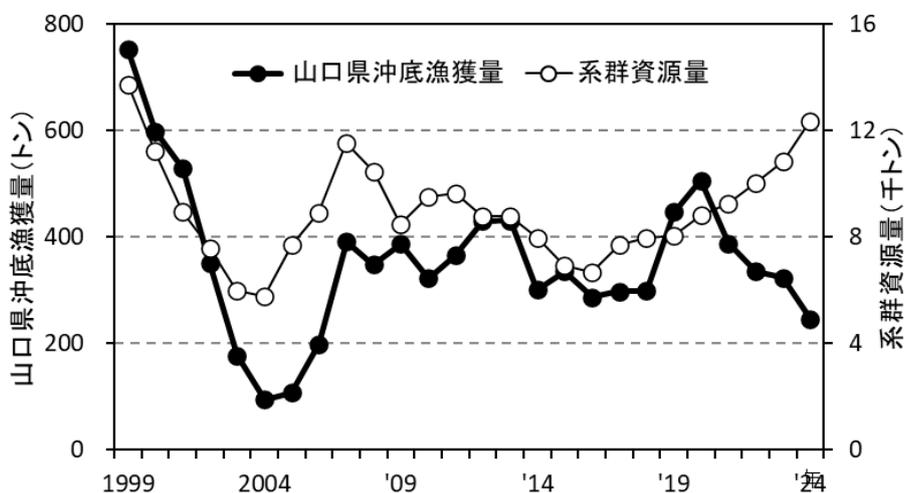


図 山口県沖合底びき網漁業ソウハチ漁獲量 (下関漁港水揚量) 及び日本海系群ソウハチ資源量 ((国研) 水産研究・教育機構 資源評価報告書)の推移

【漁業】ソウハチは主に沖合底びき網で漁獲されるほか、沿岸域では小型底びき網でも漁獲される。沖合底びき網による主な漁獲サイズは全長 20cm 以下の小型魚 (2 歳魚主体) である。

【漁獲量】山口県沖合底びき網漁業の漁獲量は、1999 年には 754 トンであったが、2004 年には最低の 95 トンまで減少した。その後増加に転じ 2013 年には 431 トンまで増加したが、2014 年以降 300 トン前後で推移した。2018 年以降再び増加し、2020 年に 507 トンとなったが、2021 年以降減少し、2024 年は 246 トンであった。

【資源状態】資源量は 1999 年に過去最高の 13.7 千トンから 2004 年には 5.8 千トンまで減少したものの、2007 年には 11.5 千トンまで増加した。その後減少傾向にあったが、2017 年以降は増加傾向に転じ、2024 年は 12.4 千トンとなった。

2024 年の親魚量 (SB) は、最大持続生産量 (MSY) を実現する親魚量 (SB_{msy} : 目標管理基準値) を上回った。また、2024 年の漁獲圧 (F) は、MSY を実現する漁獲圧 (F_{msy}) を下回った。親魚量の動向は増加と判断された。

2024 年漁獲量 (千トン)	MSY (千トン)	2024 年親魚量 (千トン)	目標管理基準値 (千トン)	限界管理基準値 (千トン)	禁漁水準 (千トン)
1.3	2.8	5.7	4.1	1.6	0.2